

経営比較分析表（令和元年度決算）

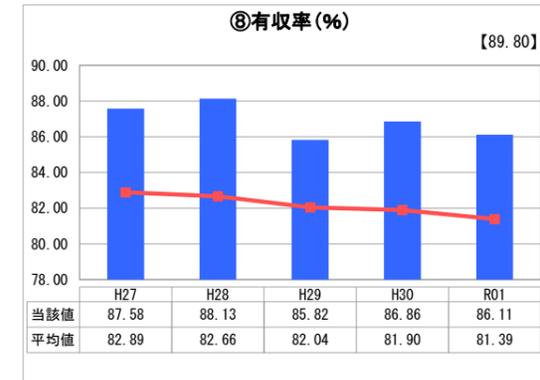
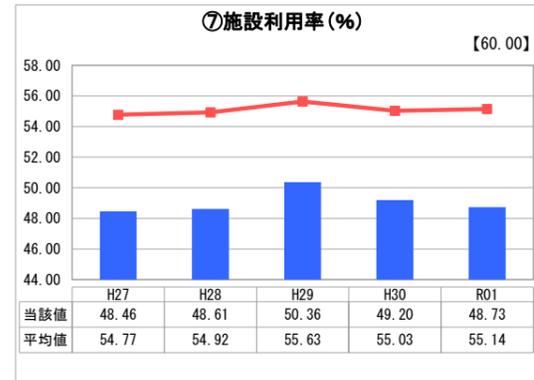
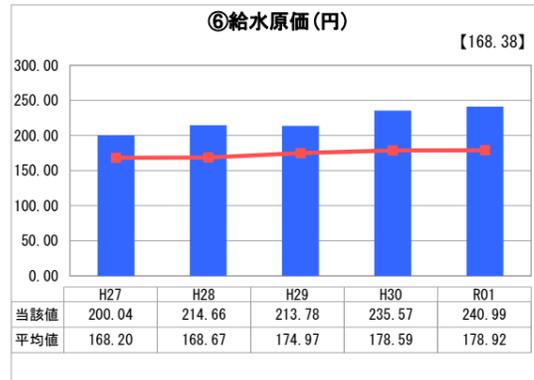
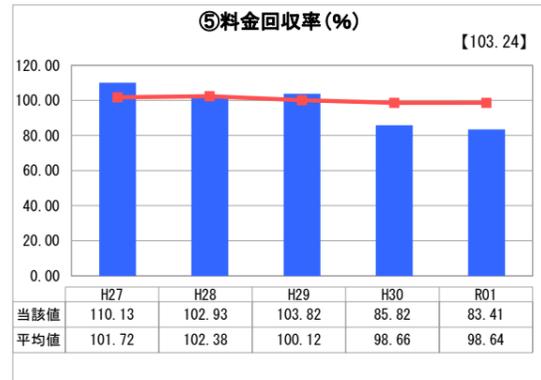
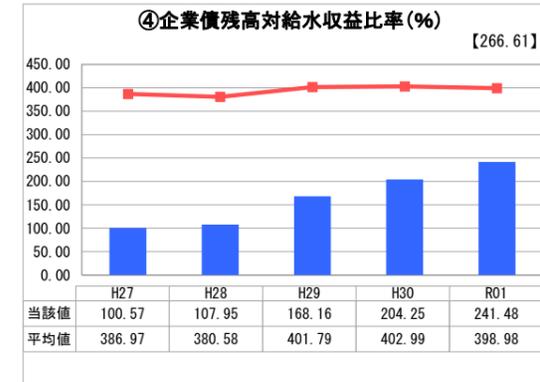
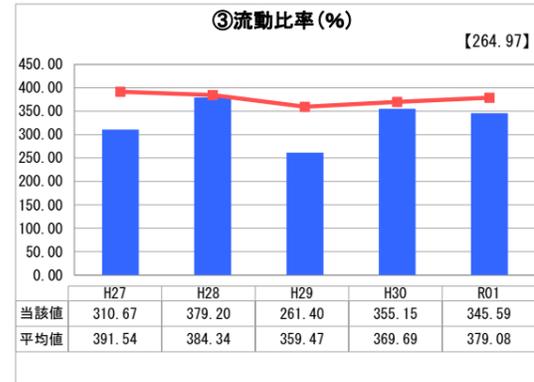
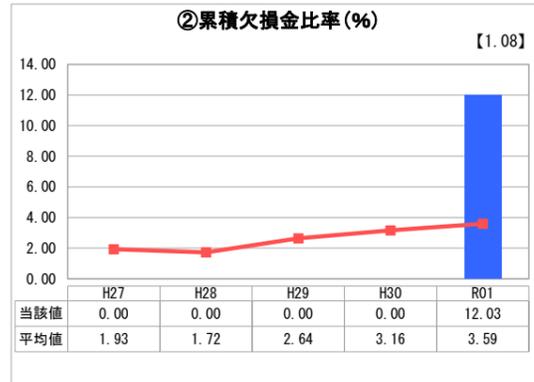
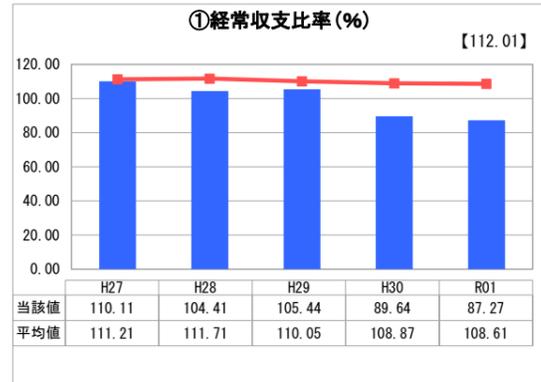
奈良県 三郷町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A6	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	75.67	100.00	3,685	

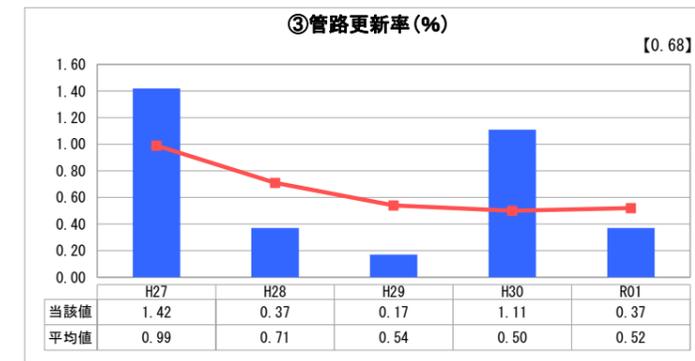
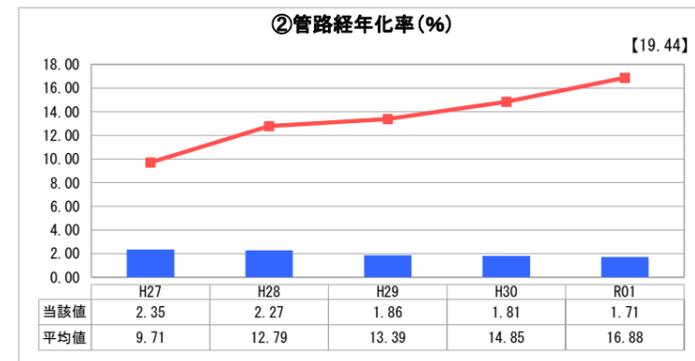
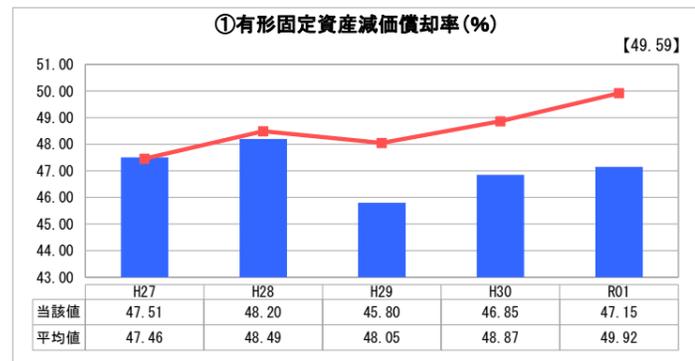
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
22,957	8.79	2,611.72
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
23,024	8.79	2,619.34

グラフ凡例	
■	当該団体値（当該値）
—	類似団体平均値（平均値）
【	令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

令和元年度決算による経常収支比率をみますと、平成30年度に続き赤字となっております。原因としては、水需要の低下による料金収入の減少があげられます。また昨年度からの赤字により累積欠損金が発生しております。

流動比率においては全国平均値以上の水準を維持しておりますが現金預金残高が減少傾向にあり、また企業債残高対給水収益比率についても施設の耐震化や管路更新を進めている事から増加している為、十分な注意が必要です。

有収水量の減少と県水100%への移行に伴う受水費の増加により給水原価は上昇しており、その影響を受けて料金回収率も低下しております。全国平均値と比べ高い状態にあるため、継続してコスト削減に努める必要があります。

有収率においては昨年度上昇したものの新たな漏水などにより再び減少がみられ、類似団体平均値よりは高い水準を推移しておりますが、引き続き対策をしていく必要があります。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率については「基本計画」に基づき施設更新を進めており類似団体平均値と比べ低い数値を推移しております。また、管路経年化率においても継続的に管路更新を進めているため、改善がみられます。

管路更新率においては平成30年度は管路更新を主におこなった為高い数値となりましたが、今年度は施設更新を主におこなった為低い数値に留まりました。

全体総括

水需要の低下による給水収益の減少、県水100%に伴う受水費の増加により昨年度に続き赤字となりました。県水転換に伴う受水費の増加に加え、管路や施設の更新を新規借入をおこないながら進めている為、さらに財政収支は厳しいものになっていくと予想されます。しかしながら耐震化や管路更新は引き続き計画を進めていく必要がありますので将来の見通しを立て状況に応じて検討をし、加えて一体化を視野に入れたコスト削減に努めて参ります。